

# 平成28年度上期(4～9月)の流通実態

厚生労働省

# 価格妥結状況調査結果概要(平成28年度9月取引分)

## 医療機関・薬局区別妥結状況

(単位:%)

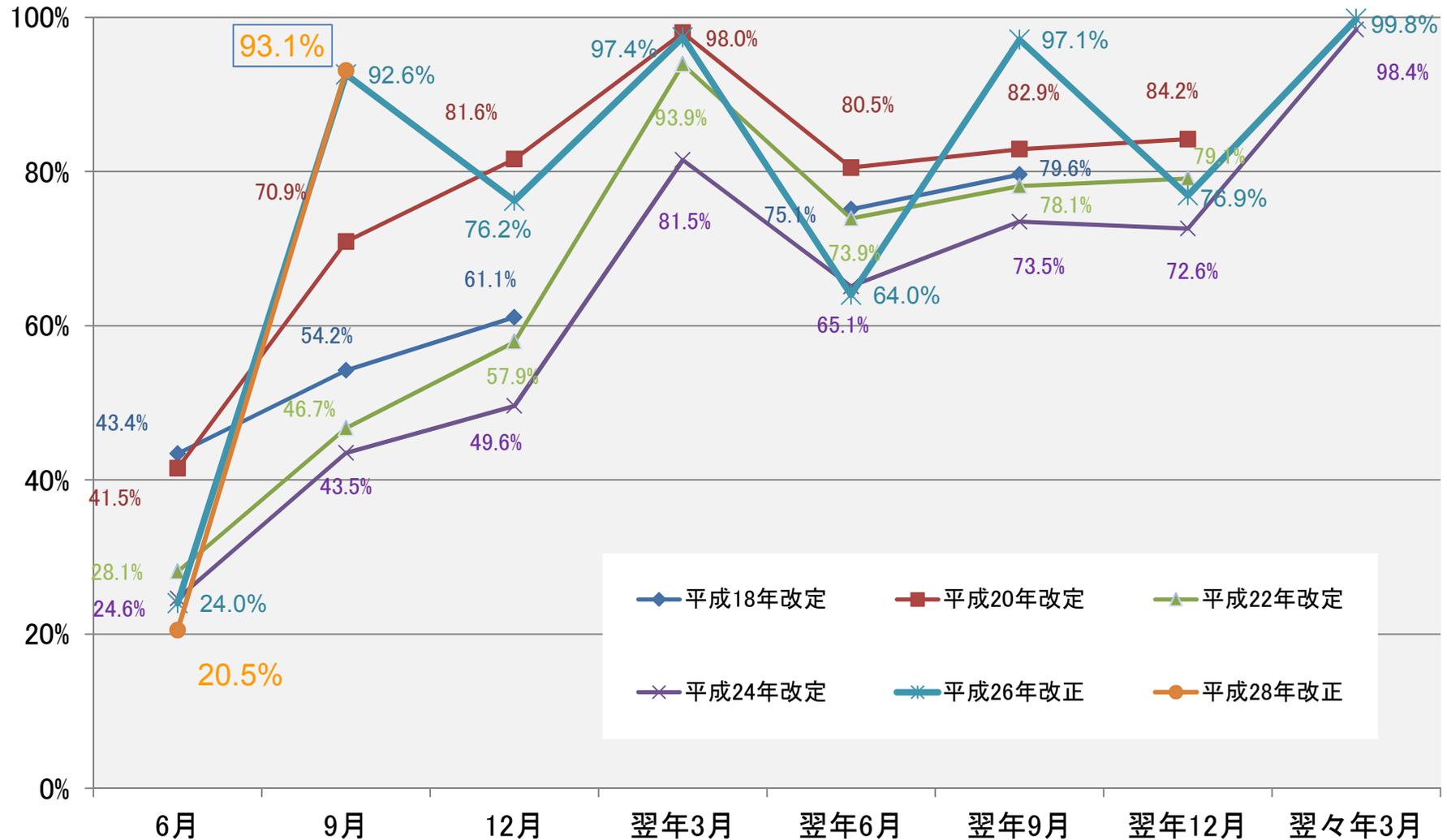
	妥 結 率															
	平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度			
	H26. 6	H26. 9	H26. 12	H27. 3	H27. 6	H27. 9	H27. 12	H28. 3	H28. 6	H28. 9	H28. 12	H29. 3	H29. 6	H29. 9	H29. 12	H30. 3
病 院(総計)	20.2	88.9	60.7	97.4	45.5	94.3	61.4	99.6	20.3	90.3						
200床以上	19.3	93.9	58.5	97.4	37.8	95.5	56.5	99.6	19.7	95.3						
そ の 他	23.5	69.5	69.6	97.6	78.5	89.3	83.4	99.7	23.5	66.6						
診 療 所	50.9	80.4	86.5	98.9	93.3	97.8	95.6	99.9	49.1	82.3						
(医療機関 計)	30.4	86.0	69.2	97.9	61.4	95.4	71.7	99.7	29.3	87.8						
チェーン薬局 (20店舗以上)	19.0	96.7	67.8	94.2	35.2	97.0	64.5	100.0	6.3	96.4						
その他の薬局	18.6	98.7	88.4	98.1	80.6	99.0	89.1	100.0	17.2	98.0						
(保険薬局 計)	18.7	98.1	82.1	96.9	66.0	98.4	80.9	100.0	13.4	97.5						
総 合 計	24.0	92.6	76.2	97.4	64.0	97.1	76.9	99.8	20.5	93.1						

※その他の薬局には20店舗未満のチェーン薬局を含む。

※調査客体：一般社団法人日本医薬品卸売業連合会会員構成員の卸売業者

# 妥結率の推移

(平成18-19, 20-21, 22-23, 24-25, 26-27, 28-29年度)



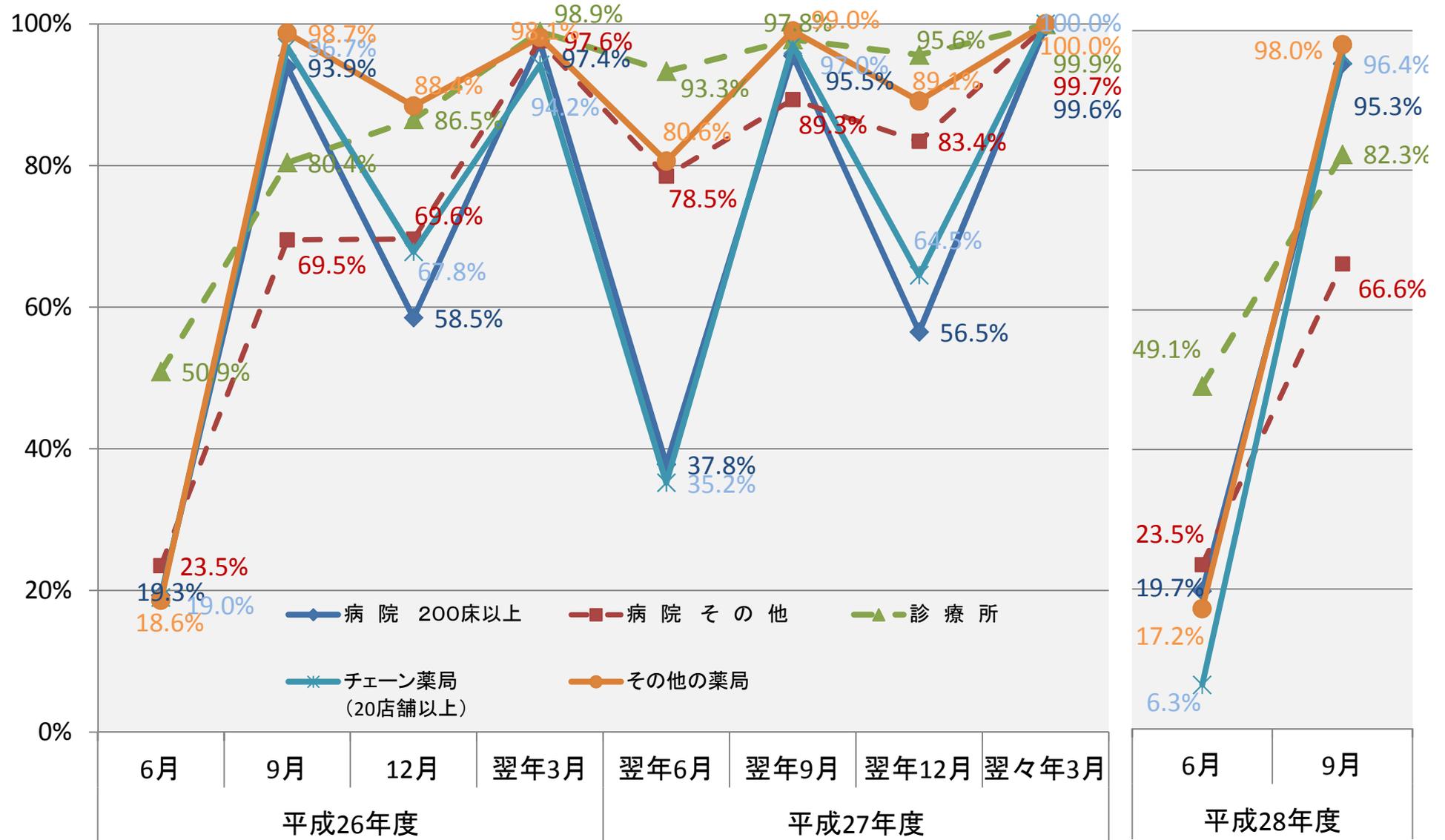
(注) 平成18年改定時の調査は、18年7月、18年10月、翌年1月、翌年7月、翌年10月に実施。

データ  
厚生労働省

(注) 平成18年改定時の調査は、18年7月、18年10月、翌年1月、翌年7月、翌年10月に実施。  
「翌々年3月」については、平成24年度、平成26年度改定分においてのみ実施

# 妥結率の推移

(平成26-28年度 医療機関・薬局区分別)

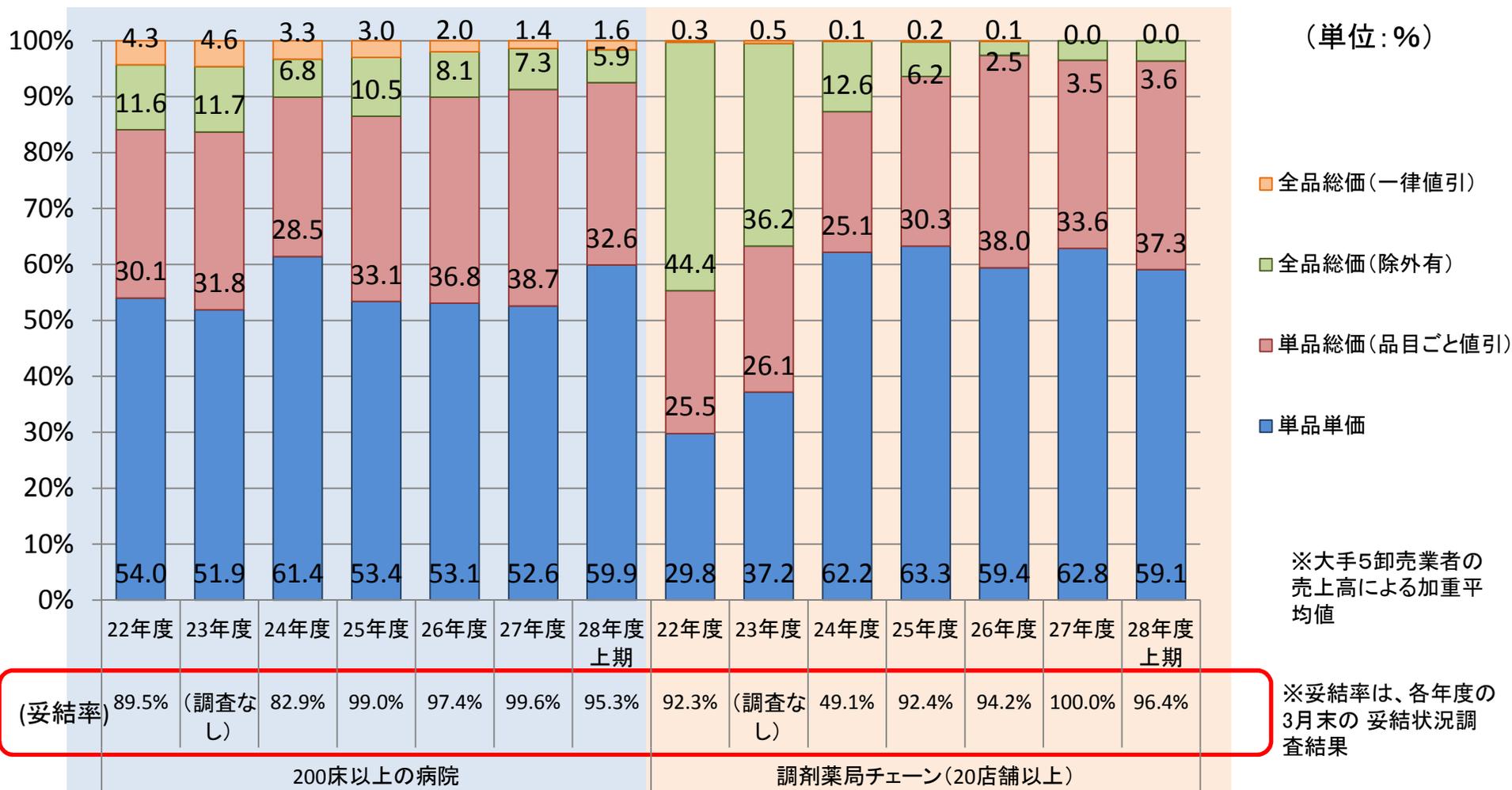


データ  
厚生労働省

# 単品単価取引の状況

単品単価取引については、

- 200床以上の病院は、前年度と比較して増加。26年度と比較しても増加。
- チェーン薬局(20店舗以上)は、前年度と比較して減少。26年度と比較して若干の減少。



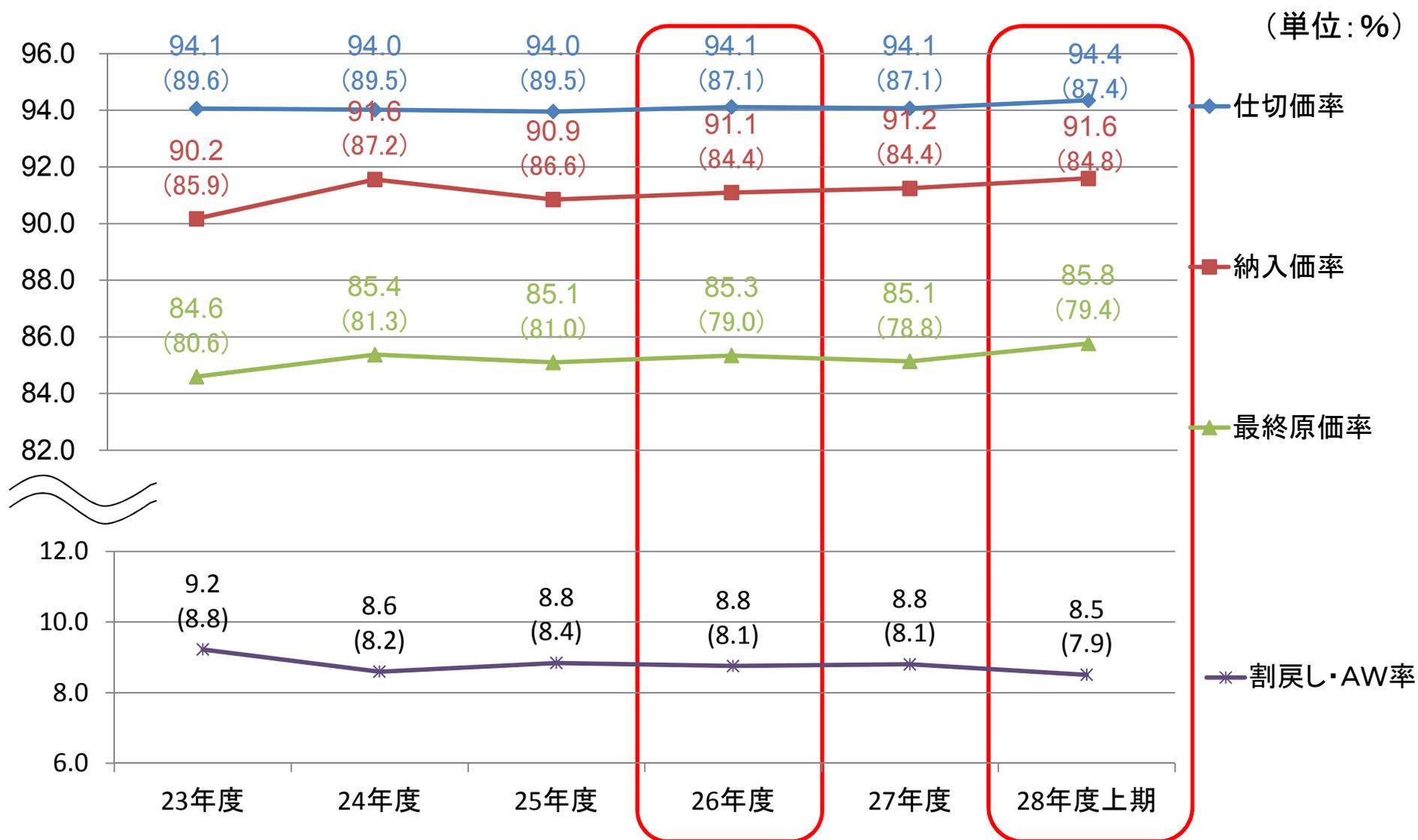
(妥結率)

89.5%	(調査なし)	82.9%	99.0%	97.4%	99.6%	95.3%	92.3%	(調査なし)	49.1%	92.4%	94.2%	100.0%	96.4%
-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	--------	-------

200床以上の病院

調剤薬局チェーン(20店舗以上)

# 各種水準の推移



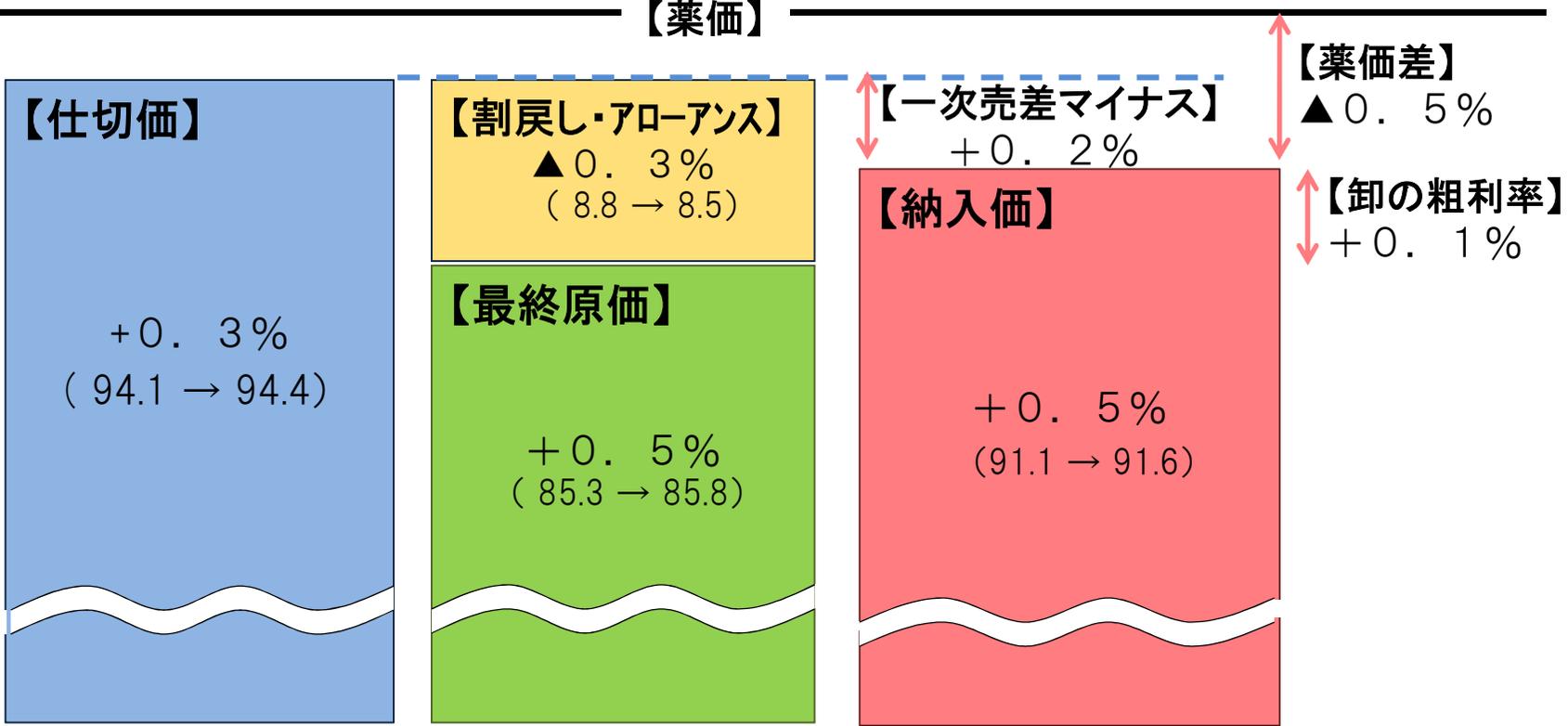
\* グラフの数値は、薬価を100としたときの税抜の水準に105/100(26年度以降は108/100)を乗じたもの(単位: %)

( )内は薬価を100としたときの税抜の水準

【データ】 大手5卸売業者ごとにそれぞれの取扱全品目の加重平均値を算出し、さらに、その5つの算出値を単純平均した値  
小数点第2位を四捨五入

# 各種水準の26年度と28年度上期の比較

- 「仕切価」は、若干上昇
- 「割戻し・アローアンス」は、若干縮小
- 「最終原価」、「納入価」は、上昇
- 「一次売差マイナス」は若干縮小
- 「卸の粗利率」は若干拡大し、「薬価差」は縮小



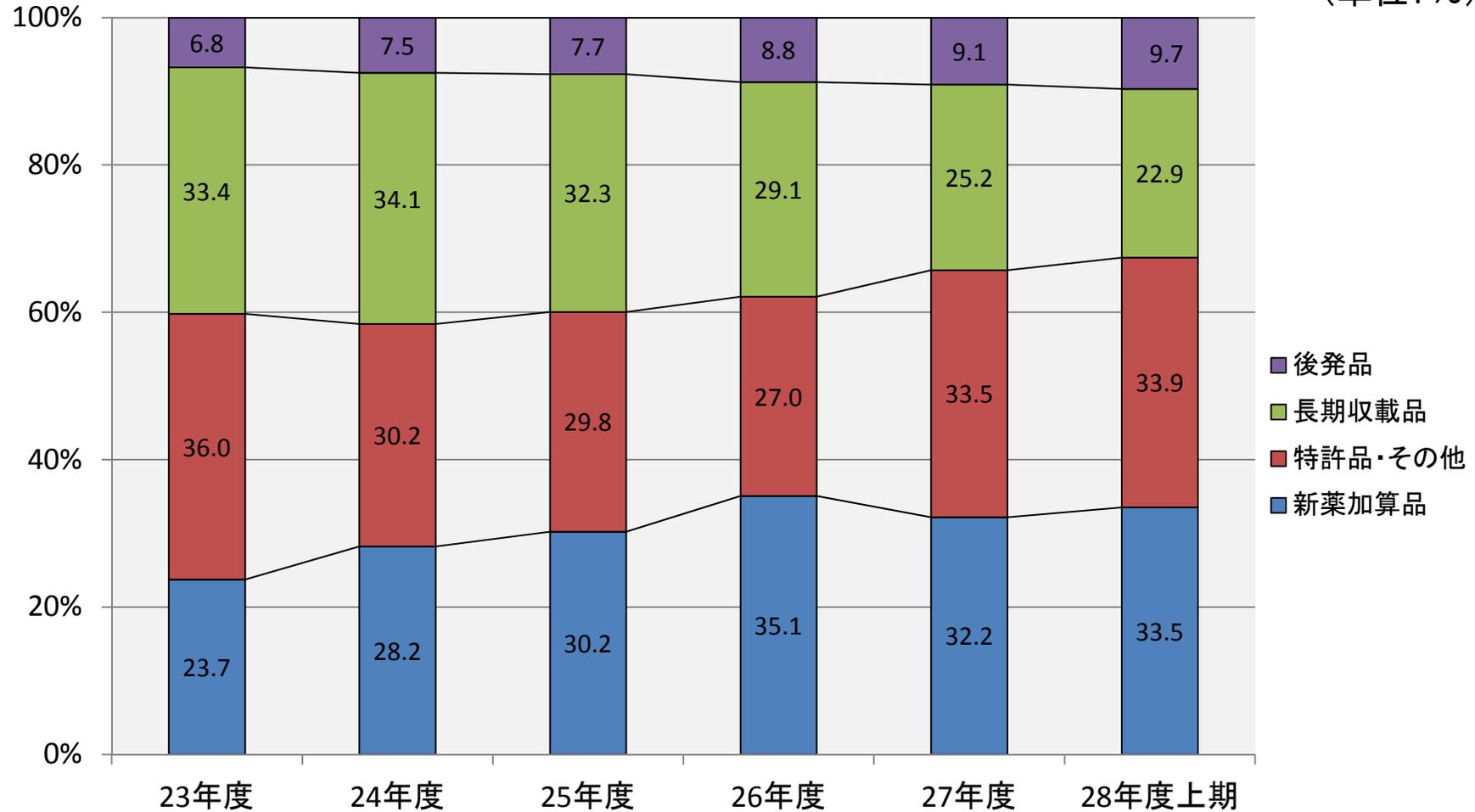
\* 図中の数値は、薬価を100としたときの税込の各種水準の26年度と28年度上期の差

【データ】 大手5卸売業者ごとにそれぞれの取扱全品目の加重平均値を算出し、さらに、その5つの算出値を単純平均した値  
 小数点第2位を四捨五入

# 売上構成比の推移

- 傾向として、「新薬加算品」、「特許品・その他」、「後発品」が増加し、「長期収載品」が減少
- 28年度上期の特徴として、前年度と比較して「新薬加算品」が増加

(単位: %)



【データ】大手5卸売業者ごとの算出割合を加重平均した値